

稲作だより 第4号

平成20年6月26日

6月20日現在の作柄診断ほ（寒河江市：平坦部）の生育は、平年に比べ、草丈はやや短く、茎数はやや多め、葉数はやや少なく、葉色はやや淡い状況です。

梅雨入りは6月19日と平年より9日遅くなりました。6月20日発表の1か月予報では平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されています。

☆ 過剰な茎数を抑え、高品質をめざそう！

中干し・作溝の徹底で適正な生育量に!!

目標茎数（概ね23～25本/株）を確保したほ場では、作溝・中干し（中干しの期間は7～10日程度、小ヒビが入る程度）を行いましょう。生育が旺盛なほ場では、強めに干します。土が型崩れしない硬さになったら溝切りを行い、中干し効果を高めましよう。

降雨が少なく、温度の高い日が続いているため、わき（還元）がひどいほ場が見られます。目標茎数が確保されていない場合でも、一時的な落水や水交換を行いましょう。

中干し後の水管理

- ①中干し終了直後はすぐに湛水状態とせず、ほ場表面を伝って水が走る（走り水）程度にとどめ、土には足跡に水がにじみ出る程度とする。
- ②その後、徐々に間断かんがい（湛水と落水を繰り返す）を行う。
- ③穂ばらみ期前後の低温が予想される時には、深水で稲体を保護する。

☆ 葉いもちに注意

6月13日に平年より10日早く、本田で発生が確認されました。

葉いもち防除の箱施用剤を使用した水田でも、ほ場の観察を行い、早期発見、早期防除を徹底しましょう。

取り置き苗がまだ残っているほ場が散見されます。葉いもちの発生源になるので、今すぐ、処分しましょう。

イベント情報

「低コスト稲作研修会」

日程：8月8日（金）午前9時～

内容：不耕起V溝直播、山形

97号栽培圃場視察

低コスト稲作技術の紹介等

主催：米づくりやまがた日本一運動

問合せは普及課まで(86-8291)

☆ カメムシ対策:草刈りの徹底が発生密度を軽減させる!

草刈りはこまめに、早生種の出穂前（7月末）までに完了

その後の「草刈り」は「薬剤防除」とあわせて直前に!

普段から畦畔管理を徹底していないほ場において、出穂後の畦畔の草刈りにより、斑点米の原因であるカメムシを田んぼへと追い込むことになり、品質低下を助長させます。



☆ 穂肥は生育・葉色を見て適量を!

自分のほ場の稲を見て、茎数が多い場合や葉色が濃い場合などは、追肥量を減らし、食味の低下を防ぎましょう。

追肥量が多かったり時期が遅れたりすると、玄米中のタンパク質が多くなり食味を低下させますので、生育に応じた適期・適量の追肥を行きましょう。

地域	品 種	追肥の量 (窒素成分) k g /10a	追肥時期の目安		追肥時に 適した 葉 色 (カラースケール)	平年の 出穂期
			出穂前 日 数	月・日		
平坦	はえぬき	1. 5~2. 0	25日前	7/12	4. 8	8/6
	ひとめぼれ	1. 5 程度	20	7/16	4. 7	8/5
	ササニシキ	1. 0~1. 5	20	7/15	4. 3	8/4
	コシヒカリ (夢ごち)	1. 0~1. 5	15	7/28	4. 0	8/12
中山間	はなの舞	1. 5~2. 0	25	7/10	4. 5	8/4
	あきたこまち	1. 5 程度	20	7/16	4. 8	8/5

※追肥時期の目安は平年の出穂期より算出したもので、今年の生育の進み具合により前後します。

「山形97号」情報 No.2

平成22年秋デビューまでのスケジュール

平成20年度：名称の公募・県民投票、栽培適地マップ作成、生産計画策定

平成21年度：種子生産、テスト販売、栽培マニュアル作成、生産者登録

平成22年度：一般栽培

* 30aの実証ほが寒河江市に設置してあります。南部小学校と高速道路の間で看板が設置してありますので、ぜひ見に行ってください。

米づくりやまがた日本一運動

JAさがえ西村山 JAさがえ西村山水稲部会
村山総合支庁西村山農業技術普及課

常日頃からの実践!

☆農作業の事故防止
☆農薬の適正な使用